学校番号	T3010

令和８年度　理科

教科	理科	科目	総合サイエンス	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	科学と人間生活（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は教科書に加え、プリントを使って進めていきます。学習内容を振り返ることができるように、プリントを完成させましょう。
・実験・観察等の実習を行う際は、説明をよく聞き、手順に沿って行いましょう。また、実習前に結果を予想し、実際に検証し、結果について考察するという習慣をつけましょう。
・疑問に思ったことはどんどん質問してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・私たちに身近な自然の原理・法則や科学技術について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】
・身近な科学的事象についての疑問を持ち、それに対して仮説を立て、実験や観察を行い、結果について考察するというプロセスを踏むことができる。

【学びに向かう力、人間性等】
・学んだ内容に関連するような内容を自主的に調べ、他者と協働しながら探求活動が行える。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	科学的事象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また観察、実験などの基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	科学的事象の中に問題を見いだし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を意識しながら科学的事象に関心をもち、意欲的に探求しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	人間生活の中の科学	光の性質とその利用 熱の性質とその利用 材料とその再利用	a:授業で行った内容や実験・観察の手順等について正しく理解している。 b:投げかけた開けた問いに対して科学の法則等を基に、自分なりの解答を導きだすことができるかどうか、実験・観察において予測を立てたり、結果から自分なりの考察を導き出したりすることができる。 c:出席状況や授業を受けている際の態度、授業プリントへの記入状況、実験・観察への取り組みにて評価する。	定期考査	定期考査 実験・観察レポート	提出物 振り返りシート 授業への取り組み
二学期	人間生活の中の科学	衣料と食品 生物と光 微生物とその利用 身近な天体と太陽系における地球 身近な自然景観と自然災害	a:授業で行った内容や実験・観察の手順等について正しく理解している。 b:投げかけた開けた問いに対して科学の法則等を基に、自分なりの解答を導きだすことができるかどうか、実験・観察において予測を立てたり、結果から自分なりの考察を導き出したりすることができる。 c:出席状況や授業を受けている際の態度、授業プリントへの記入状況、実験・観察への取り組みにて評価する。	定期考査	定期考査 実験・観察レポート	提出物 振り返りシート 授業への取り組み
三学期	これからの科学と人間生活	これからの科学と人間生活	a:授業で行った内容や実験・観察の手順等について正しく理解している。 b:投げかけた開けた問いに対して科学の法則等を基に、自分なりの解答を導きだすことができるかどうか、実験・観察において予測を立てたり、結果から自分なりの考察を導き出したりすることができる。 c:出席状況や授業を受けている際の態度、授業プリントへの記入状況、実験・観察への取り組みにて評価する。	定期考査	定期考査 実験・観察レポート	提出物 振り返りシート 授業への取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度